



←参加前に当会ホームページ新着情報をご確認ください
開催予定・時刻が変更になる場合があります



[2022.10.21.現在]

開催予定

10月							11月							12月							2023年 1月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
					1	2						5	6				1	2	3	4	2	3	4	5	6	7	8
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11	9	10	11	12	13	14	15
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18	16	17	18	19	20	21	22
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25	23	24	25	26	27	28	29
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30					26	27	28	29	30	31	30	31						
31																											

事業名	開催時間	開催場所	駐車場
○ 第1(土)(日)を中心に開催 越谷プレーパーク 越谷市プレーパーク事業	11時～16時	越谷総合公園(増林3-1) ※グリーンマルシェ裏側、トイレそば	あり
♡ 第3(火)は乳幼児親子の遊び場 ちびころ 自主事業	10時～12時	千間台第四公園(千間台西4-2) 野球場西側遊具エリア ※イオン、セキチュー、ドラッグストアコスモスそば ※近隣有料駐車場をご利用ください	なし
□ おちかくプレーパーク 自主事業	10時～12時	10月 レイクタウン大芝生広場 (レイクタウン8-3-1) 11月 七左第4公園 (新越ヶ谷1-60) ※ミラクルそば 12、1月 愚問第2公園 …12月 レイクタウンエリア で実施予定 ※近隣駐車場は限りがあります。公共交通機関のご利用を。	なし
☆ 東越谷プレーパーク 越谷市放課後子ども教室	13時～16時	東越谷第七公園(花田1-4)	なし
★ 出張プレーパーク 越谷市プレーパーク事業	11時～15時	七左第4公園 (新越ヶ谷1-60) ※ミラクルそば ※近隣駐車場は限りがあります。公共交通機関のご利用を。	なし

地域の皆さん ありがとうございます

(株)山下工務店さま 榎組さま 野口組さま 坂本さま イオンスタイルせんげん台さま
カスミフードスクエア越谷大袋店さま MEATMeet 大袋店さま タイヤガーデン越谷店さま
ドラッグストアセキ花田店さま 木材などを提供頂いております。

自分の責任で自由に遊ぶ

普通の公園が禁止事項ばかりなのは、何かあったときに「公園をつくった人が悪い」と管理者の責任を追及する傾向があるからです。子どもが公園で自由に遊ぶには、「事故は自分の責任」という考え方が基本です。そうしないと禁止事項ばかりが増えてしまい、結果、子どもが自由にチャレンジする機会を奪うことになってしまいます。子どもが思いっきり遊べる場所をみんなの力で作りましょう！

プレーパークって？

「〇〇してはいけません」という禁止事項のない遊び場。何をしてもいい、なにもなくてもいい。穴掘り、木登り、泥んこ遊びや火を使った遊びなど、子どもたちが「やりたい!」と思ったことを自由にできるように、大人たちが知恵を出し合って運営しています。

会員になってプレーパークを応援しませんか

全国各地で400を超える団体が冒険遊び場づくりに取り組んでいます。越谷にプレーパークをつくる会は、有志の市民が中心となってボランティアで運営しています。会費は活動の大切な資金となっています。越谷市が「遊びあふれるまち」になるよう一緒に願ってくれる方を募集しています。

- 正会員 2000円/年 (活動趣旨に賛同し積極的に応援)
- 賛助会員 1000円/口 何口でも! (財政的にサポート)

会費・寄付金は郵便振替でもお受けしております。
00540-2-78897 NPO法人越谷にプレーパークをつくる会

ホームページ



ブログ



NPO法人越谷にプレーパークをつくる会

メール koshigaya.asobo@gmail.com

LINE



Facebook



プレーパーク 越谷

遊びあふれるまちへ



越谷にプレーパーク

をつくる会 **通信**

65号
9月発行
2022



越谷市のふるさと納税で オリジナルカー づくりに挑戦!



昨年度より始めた「おちかくプレーパーク」。キャリーケースに遊び道具を詰め込んで越谷市内の色々な場所で、ちょっとだけのプレーパークを開催してきました。遊びを通してつながる親子の姿を見れば見るほどその必要性を感じてきました。もっとたくさん道具を運んでこれたら…そんな思いが募ります。

ガバメントクラウドファンディングとは、ふるさと納税を活用して寄附を募るしくみです。**寄付額のうち自己負担金2000円以外を所得税の還付と住民税の控除を受けることが可能**となります。たくさん寄附をしていざ戻ってくるこのしくみは、私たちもお願いしやすいと感じました。

プロジェクト名は「いつもの場所を子どもの自由な遊び場に変身させるオリジナルカーを街に走らせた。」皆さんの寄附で遊び道具をたくさん詰め込んだ車をつくりたいと考えています。遊びあふれる越谷市の実現に、私たちと一緒に取り組んでみませんか? 共感いただけるかたの納税をお待ちしております。(瀏野)

※このふるさと納税には返礼品がありませんが、1万円以上の寄附をいただいた方には車両へのお名前の掲載、10万円以上の寄附をした方へは越谷市内での遊び場の開催を感謝の気持ちとして実施したいと考えています。

あなたの寄附が必要です!!

遊び道具をつめた**オリジナルカー**をつかって
越谷の子どもたちに遊びを届けたい!



ふるさと納税型

クラウドファンディングに

挑戦!!

目標 **200**万円



「いつもの場所を子どもの自由な遊び場に変身させるオリジナルカーを街に走らせた。」プロジェクト。私たちの想い、ぜひご覧ください。

●検索の場合

ふるさとチョイス 越谷 → 「お礼の品なしの寄附」

●募集期間: 9月1日~11月30日

よろしくお願ひします!

お外で子育てしませんか？

兄弟での遊び方のちがい

我が家の次男は、赤ちゃんの頃からかなりこだわりが強く、場所見知りや感覚過敏が激しい子でした。長男は外遊び大好き、元気いっぱいタイプでした。長男が3歳、次男が1歳頃、プレーパークに行くと、長男は大喜びですが、次男が入りたくなくて大泣きするという困った事態になっていました。



次男が見つけた遊び

それでも何回か通ううち、次男がプレーパークの外の石を拾うことを始めました。スタッフの方に長男を見てもらい、ひたすら一緒に石を並べることにしました。スタッフの皆さんは「ママも楽しめばいいのよ」と温かく見守ってくれました。だんだんと地面に足がつけられるようになって、次男が2歳になった頃、みんなが遊ぶトランポリンに自分から走って行きました！その時の解放感、感動は忘れられません。



トランポリンでお友だちとくっついて遊ぶ次男



外遊びが日課に

それから毎日外遊びに行くようになりました。「お外行くよ！」そう言うと、二人でいそいそと靴下を持ってきたり、虫カゴを自分で用意したりしていき、外遊びに行くことが何よりの楽しみになっていきました。長男9歳次男7歳になった今では泥だらけで草をかき分け遊んでいます。



ネコ車に子どもたちをのせて

広がっていく世界

あの頃を思い出して考えることは、外遊びは次男の狭い許容範囲を、徐々に広げてくれたのではないかと思います。目の前の石から始まり、草や泥が平気になり、広い公園でも自分らしく自由に振る舞うことができるようになりました。そして季節とともに変わる自然の中で、環境の変化があっても不安がなくなったのだと思います。母親の私も「ダメなんだ」とあきらめずに代替案を考えるようになりました。もし家の中にずっといたら、今でもいろんなことが不快と思う子だったかもしれません。長男につきあわせる形から始まった外遊びですが、今では「あの時一緒に外に連れて行って本当に良かった」と思うのです。(くりぼー)



乳幼児親子の遊び場 ちびころ



「いいお母さん」になりたい！そう思っていました。産院で見つけた絵本の配本サービスに申し込み、わくわくしていました。あれは息子が1歳の頃か。読んでいると…ビリッ…ビリリ。

『えー！なんでこの子は次々ページを破るの？』イライラがつのります。相談してみるとこんな言葉をかけてくれました。

「破ってもいいですよ。好きな本は破るんです。そうやって破って、なおした絵本が味わい深い絵本になります。きれいな絵本よりずっといいですよ」肩の力が抜けました。

程なくして、乳幼児親子の遊び場「ちびころ」に出

今日読んだ絵本を並べ中



絵本の世界に入り込み中



会います。子どもたちが思いっきり遊ぶ姿に、仲間とたくさん笑いあいました。え！と驚くことがあっても「まあ、いっか」と（投げやりではなく）思わず笑う。「いいお母さん」ではなく、私は私でいいんだ、と思えたのも「ちびころ」のおかげです。

9月20日ちびころ絵本会。ビリビリになって、テープでなおした絵本5冊を持って参加したら、あの頃の自分を思い出しました。(かなもん)

市内の公園にコロコロくんが出かけます



ご近所がつながる 「みちあそび」

9月の移動型プレーパーク(コロコロくん)は越谷のまち蔵カフェ前で「みちあそび」でした。まち蔵を管理されている方、(株)中央住宅さんの協力もあり、子どもだけではなく大人も遊べる場ができました。

私は「みちあそび」から連想したことがあります。児童書の『夏の庭—The Friends—』(湯本香樹実/新潮社)。死んだ人が見たいと、もうじき死ぬのではないかと噂されている一人暮らしのおじいさんを見張る3人の小学生のお話。

見張られていると気づいたおじいさんがだんだん元気になっていきます。コンビニ弁当ばかりだったのに、スーパーで野菜を買うようになり、家の周りのゴミを片づけます。やがて少年たちと口をきくようになり一緒に家や庭の手入れをし、庭に花の種をまきました。秋には庭一面がお花畑になるように…。

誰とも関りを持たなかった老人と、それぞれに事情をかかえた少年たちはつながり、交流していくことで変化し成長していきます。

「みちあそび」から飛躍しているかもしれませんが、どんな大人に出会うかで子どもの成長に影響があるとされます。大人だって子どもから影響を受けることがあるでしょう。

コロコロくんの行く先での出会いも貴重なものだと思ってしまうのでした。(☆)



プレーリーダーって？

子どもとことん遊び、ありのままを受け入れ、遊び全体に目を配ります。遊びの種を蒔き、遊びを通して子どもたちの相談相手にもなってくれる、親でも先生でもない子どもと対等な大人です。遊びに伴う危険を予測して対応し、遊び場の整備なども行います。